10月の園だより

令和7年10月
こぐま保育園

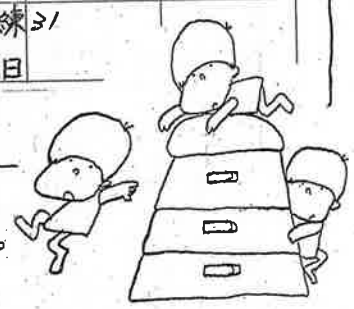
今年は暑い日が続き、秋は本当にやってくるのかと心配してしまいましたが、季節は巡っていますね。少しずつ涼しくなり、ようやく秋を感じるようになりました。今月は運動会があります。年長児は縄とびの縄を自分で編むところから始まる運動会への様々な取り組みの中で、沢山の挑戦をし、達成感を積み重ね、自信をつけながら大きく成長していきます。

当日は各年齢に応じたリズムやかけっこ、障害物競争で素敵な姿を見せてくれることでしょう。子どもたち一人ひとりが主役の運動会です。子どもたちみんなに温かいご声援をよろしくお願いします。

10月の行事予定

㊐	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ほしぐみ役員会	4
⑤	6 発育測定	7	8	9	10 運動会	11
⑫	⑬	14	15 弁当デー (ほし)三瓶登山	16	17 安全診断日	18
⑲	20	21 (ほし)懇談会 保幼小交流の日	22 身体測定	23 登山予備日 (ほし)	24	25
㉖	27 (すみれ)給食公開	28 (ほし)カミサマ紙芝居	29 (すみれ)給食公開	30 避難訓練 (ほし)祖父母公開日	31	

廃品回収は10/20(月)～24(金)です。



―社会性を培う"遊び"―

遊びには「社会性を培う」という大切な意味もあります。たとえば、他の子とおもちゃの貸し借りができるとか、すべり台などの遊具で自分の順番が待てるといった行動は社会性が備わることでできるようになることです。「こうしなさい」とか「こうしないとダメでしょ」と躾として教える方法もありますが、それは子どもたちにとって「快感」にはなりません。それよりは、「他の子におもちゃを貸してあげたら向こうも貸してくれてうれしかった」「順番を待ったら仲良く一緒に遊べた。楽しかった」といった経験をたくさん積ませてあげる。どんな言葉をかけてあげればいいのかのお手本は、家庭で遊んでいるときに示してあげるといいでしょう。「お母さんにもこのおもちゃを貸してくれるとうれしいなあ」と言ってみせる。子どもが貸してくれたら、「いいの？うれしい！ありがとう」と感謝の言葉を伝える。逆に子どもが欲しがっているときには「はい、どうぞ」といって手渡してあげる。自分がしてもらったら気もちのいいコミュニケーションの取り方を教えてあげるのです。子どもは真似したがりですから、感性に響いたことはすぐに真似るようになります。そして、子ども同志で遊ぶときにもできるようになって、それがやっぱり気もちいいこと、うれしいこと、楽しいことだという経験知が積み重なっていくと、人間関係の結び方がうまくなります。他の子と関わって一緒に遊ぶことが好きになります。

『遊ぶ力は生きる力』 齋藤孝 著

おしらせ

今月の弁当デーは15日(木)です！

第52回運動会について

日時：10月10日(金) 8:30～
場所：こぐま保育園 園庭
(雨天時は同日にカミアリーナにて行います)
・詳細は以前配布したおたよりとご確認ください。
・前日9日(木)の延長保育はありません。

役員会について

日時：10月3日(金) 19:00～
内容：運動会について
きく(ほしぐみの役員さん、よろしくお願いします

年長児(ほしぐみ)の活動

・祖父母公開日
日時：10月30日(木)
対象：年長児のおじいちゃん、おばあちゃん一名

・三瓶登山
日時：10月15日(水) 予備日23日(木)
大田市にある標高1126メートルの男三瓶に登ります！

・カミサマ紙芝居
日時：10月28日(火) 10:00～
場所：こぐま保育園
神話、イム様のお話を語るカミサマ紙芝居師"紙芝居師なっちゃん"こと中谷奈都子さんによる紙芝居を観ます。